

博士課程

2019

授業科目 〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究所

授業科目〈シラバス〉について

この「2019 授業科目〈シラバス〉」は、平成 31 年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究 I	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究 II	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	22
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	23
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	24
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	25
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	26
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	27
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	28
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	29
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	30
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	31
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	32

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90242	日本芸術批評史研究A (奇数年度開講)	2単位 前期	1・2	講義	小林 純子

■テーマ 日本の芸術論と美術史

■授業の概要

日本の画論・芸術論を講読し、美術にまつわる価値の創造とその変化について考究します。また明確な史観を持って記述された画史を読み、史観の変遷や美術史における歴史叙述の方法について考えます。本年はテキストに狩野安信『画道要訣』、田能村竹田『山中人饒舌』、岡倉天心『東洋の理想』、柳宗悦『琉球の富』等を用いる予定ですが、受講生の専攻分野を考慮して変更する可能性があります。また各自一編の芸術批評を選び、それについて口頭で成果を発表し、さらにレポートを書いて学期末に提出してもらいます。

■到達目標

- ・日本の芸術論を批判的に読み、問いを設定することができる。
- ・文献資料、作品等を調査し、得た知識をもとに問いを解決することができる。
- ・自説を持ち、それを合理的に論述することができる。
- ・先行研究を正しく参照し、かつ新知見を提示することができる。

■授業計画・方法

1. オリエンテーション、日本の画史・画論・芸術論について
2. 狩野安信『画道要訣』、狩野派について
3. 狩野安信『画道要訣』、狩野派の画論について
4. 狩野安信『画道要訣』、狩野安信の絵画観について
5. 田能村竹田『山中人饒舌』、文人画について
6. 田能村竹田『山中人饒舌』、田能村竹田について
7. 田能村竹田『山中人饒舌』、田能村竹田の絵画観について
8. 岡倉天心『東洋の理想』、近代の芸術思想について
9. 岡倉天心『東洋の理想』、岡倉天心について
10. 岡倉天心『東洋の理想』、岡倉天心の芸術観について
11. 柳宗悦『琉球の富』、民芸思想について
12. 柳宗悦『琉球の富』、柳宗悦について
13. 柳宗悦『琉球の富』、柳宗悦の沖縄芸術観について
14. 発表の準備
15. 口頭発表、質疑応答
定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・毎回授業で進捗状況を報告してもらうので、継続的に調査研究する時間をとること。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点 (20%)、口頭発表 (20%)、学期末レポート (80%) で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化科学研究科 (博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□教科書：特になし

□テキスト：購読する文献を授業中に配布する。

□参考文献：下記の参考文献は芸術学専攻と大学附属図書館が所蔵している。

安村敏信編『定本 日本絵画論大成 第4巻 画道要訣ほか』ペリかん社、1997年

高橋博己編『定本 日本絵画論大成 第7巻 山中人饒舌ほか』ペリかん社、1996年

岡倉覚三著、隈元謙次郎ほか編『岡倉天心全集』平凡社、1979-1981年